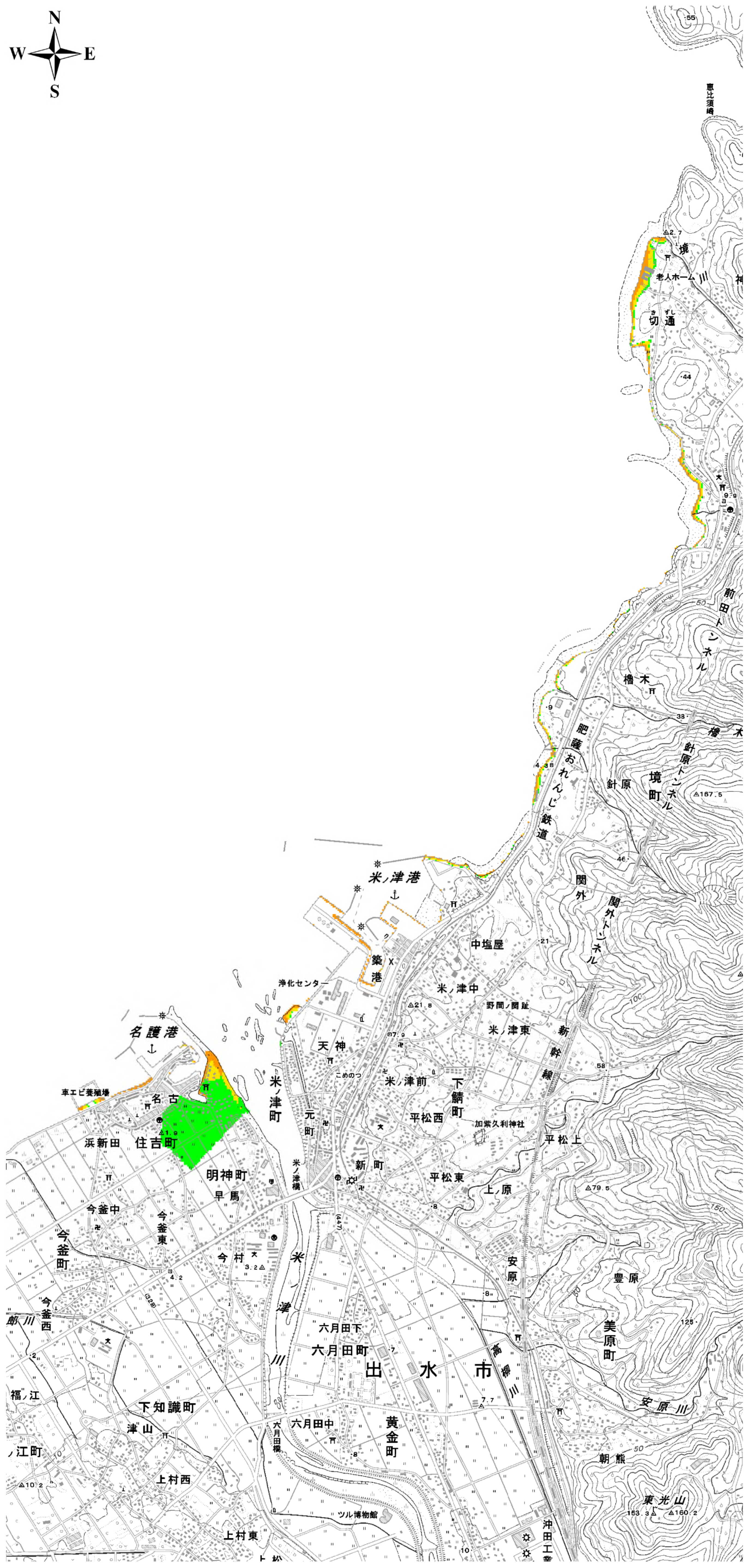
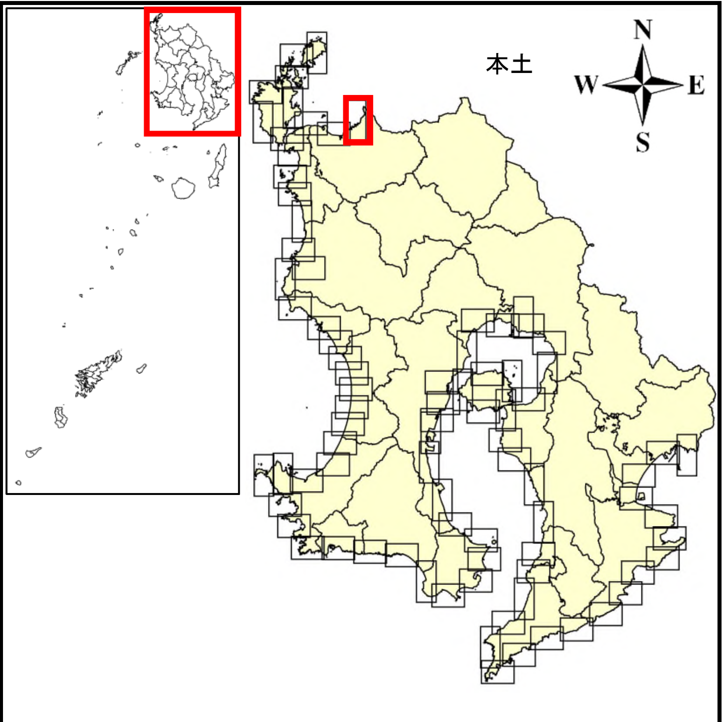
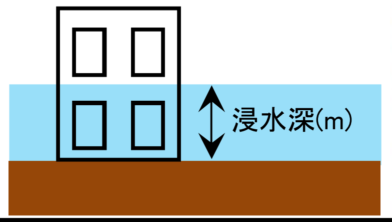
鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ(CASE5)の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：7 ＞


N
W
E
S
東比須崎
境
老人ホーム
切通
新田トンネル
橋木
肥薩おれんじ鉄道
針原トンネル
針原
境町
関外
関外トンネル
米ノ津港
築港
浄化センター
中塩屋
米ノ津中
野間ノ関趾
米ノ津東
新幹線
名護港
車エビ養殖場
名古
住吉町
浜新田
天神
米ノ津前
米ノ津町
下鯖町
元町
平松西
加紫久利神社
平松上
明神町
早馬
新町
平松東
上原
今釜中
今釜東
今釜町
今村
米ノ津川
安原
豊原
今釜西
六月田下
六月田町
出水市
高尾川
美原町
福ノ江
下知識町
六月田中
黄金町
安原川
津山
江町
上村西
朝熊
ツル博物館
上村東
東光山
沖田



【凡例】



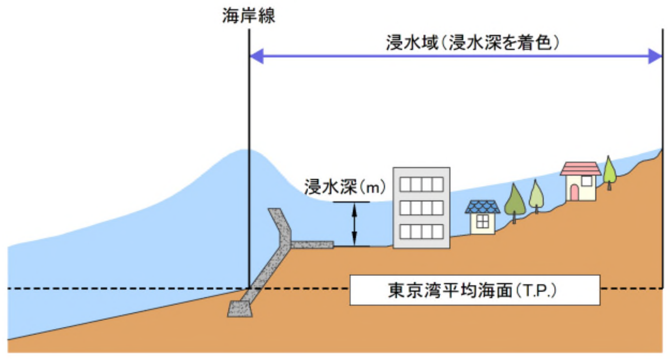
浸水深(m)

🟪	20.0m以上 －
🟪	10.0m以上 － 20.0m未満
🟥	5.0m以上 － 10.0m未満
🟥	3.0m以上 － 5.0m未満
🟥	2.0m以上 － 3.0m未満
🟧	1.0m以上 － 2.0m未満
🟨	0.3m以上 － 1.0m未満
🟩	0.01m以上 － 0.3m未満

【津波の計算条件】
○初期潮位：朔望平均満潮位
○堤防条件：堤防あり(ただし、津波が堤防等を越流すると破堤)

【留意事項】
○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)をあらわしたものです。
○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

【浸水想定の用語の解説】
○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ

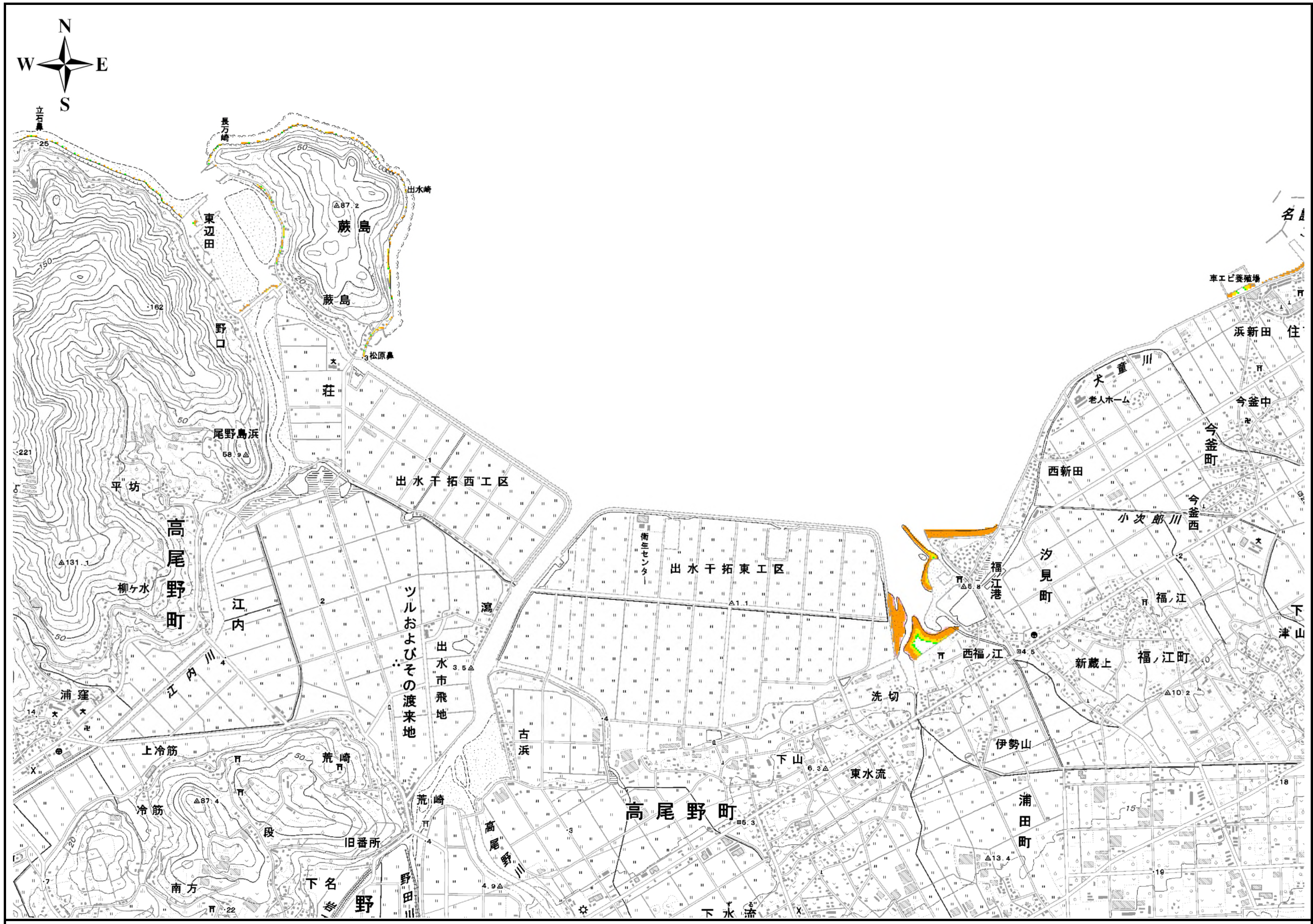

海岸線
浸水域(浸水深を着色)
浸水深(m)
東京湾平均海面(T.P.)

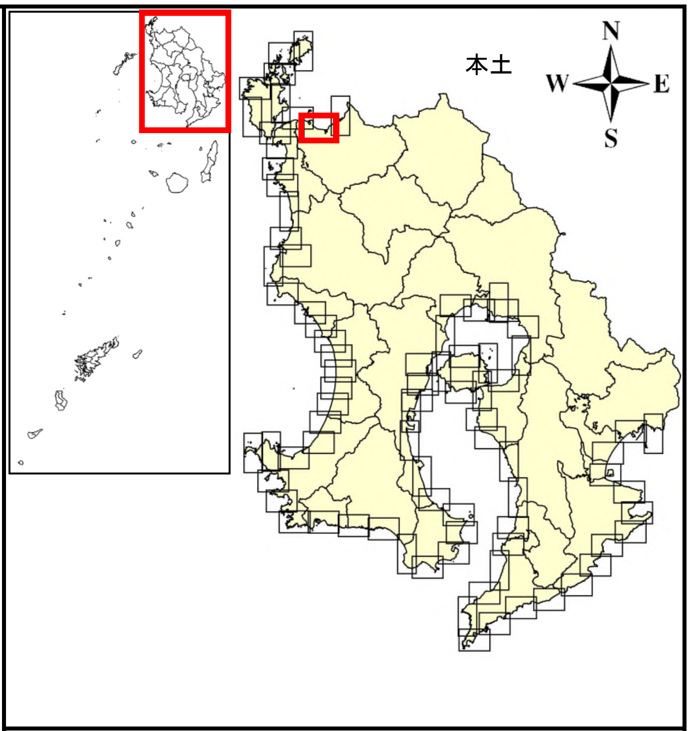
縮尺：1/25,000

0.0 km　1.0 km　2.0 km

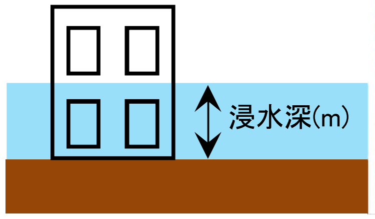
○この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平 25 情複、　第 74 号）
○この地図を複製・使用する場合は、国土地理院長の承認を得なければなりません。

鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ(CASE5)の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：８ ＞


N
W
E
S
立石鼻
長万崎
出水崎
東辺田
蕨島
野口
松原鼻
荘
尾野島浜
平坊
高尾野町
柳ヶ水
江内
江内川
浦窪
上冷筋
冷筋
段
荒崎
旧番所
南方
下名
野田川
出水干拓西工区
出水干拓東工区
衛生センター
鶴
ツルおよびその渡来地
出水市飛地
古浜
高尾野川
下山
東水流
洗切
伊勢山
浦田町
高尾野町
西福江
福江港
汐見町
新蔵上
福ノ江町
福ノ江
小次郎川
今釜西
今釜町
西新田
犬童川
老人ホーム
今釜中
浜新田
車エビ養殖場



【凡例】



浸水深(m)

🟪	20.0m以上　–
🟪	10.0m以上　– 20.0m未満
🟥	5.0m以上　– 10.0m未満
🟥	3.0m以上　– 5.0m未満
🟥	2.0m以上　– 3.0m未満
🟧	1.0m以上　– 2.0m未満
🟨	0.3m以上　– 1.0m未満
🟩	0.01m以上　– 0.3m未満

【津波の計算条件】

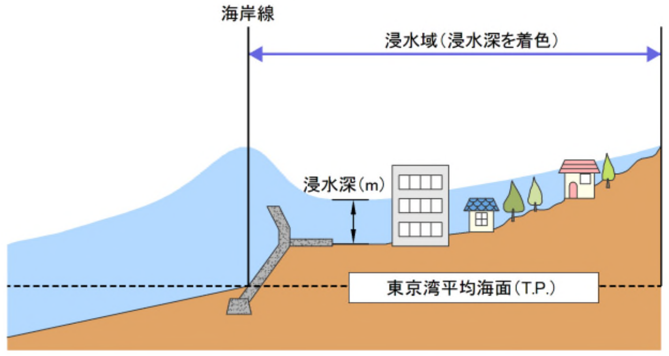
○初期潮位：朔望平均満潮位

○堤防条件：堤防あり（ただし、津波が堤防等を越流すると破堤）

【浸水想定の用語の解説】

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ


海岸線
浸水域（浸水深を着色）
浸水深(m)
東京湾平均海面(T.P.)

縮尺：1/25,000

0.0 km　1.0 km　2.0 km

【留意事項】

○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）をあらわしたものです。

○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。

○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

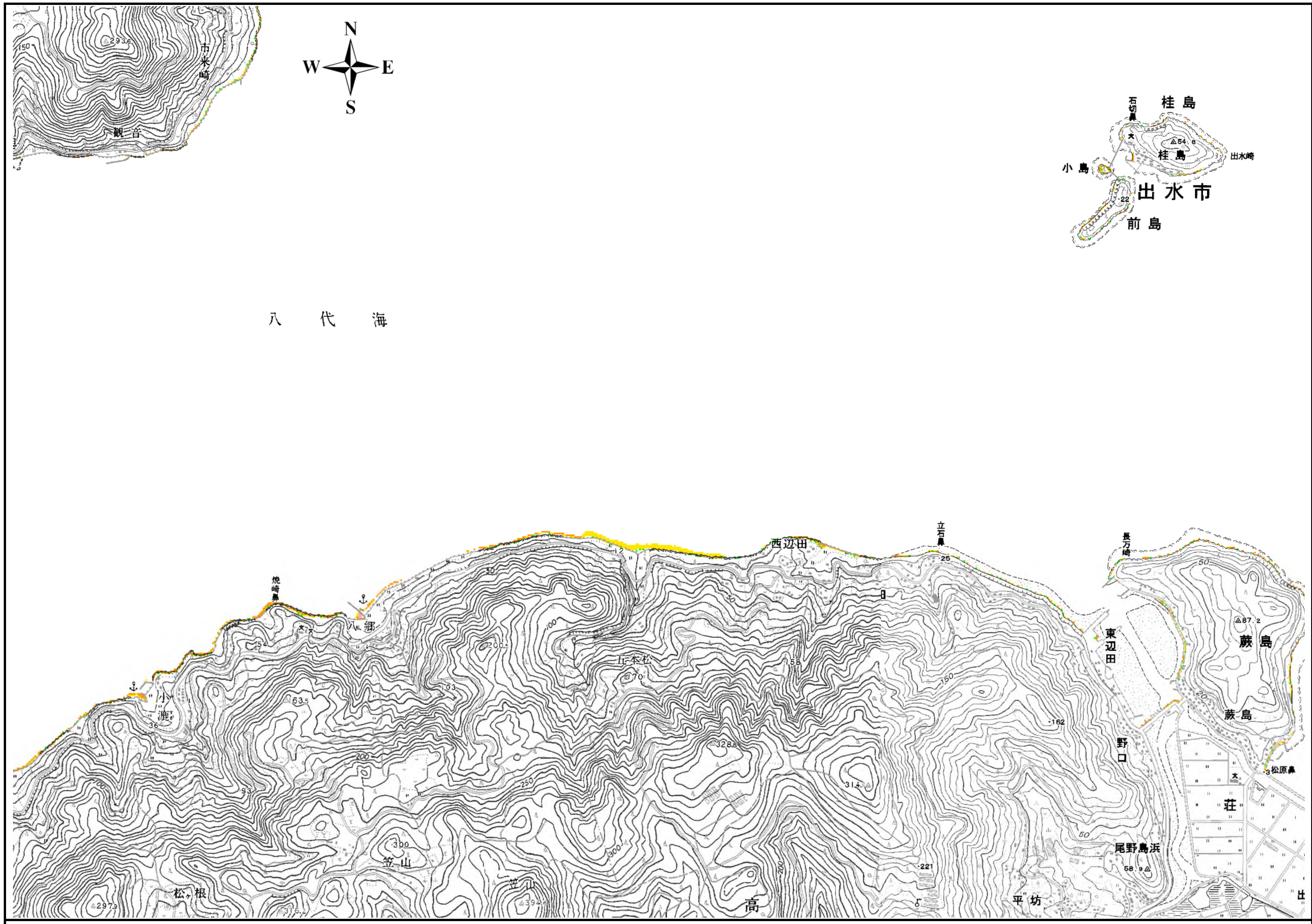
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

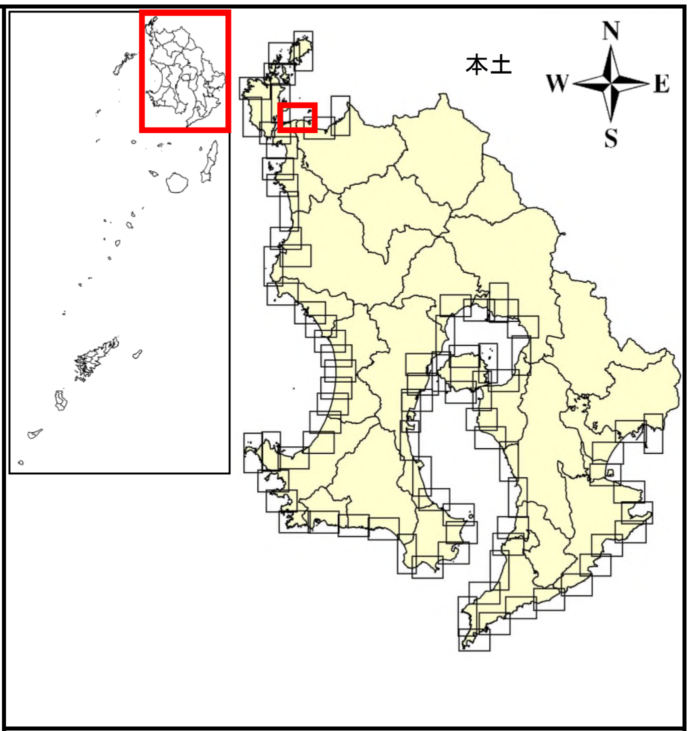
○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

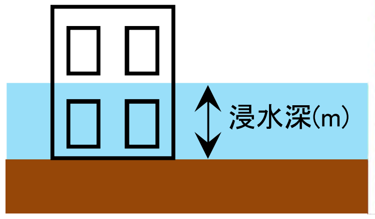
鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ(CASE5)の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：９ ＞



N
W
E
S
市来崎
観音
八代海
桂島
石切鼻
小島
桂島
出水崎
出水市
前島
西辺田
立石鼻
長方崎
焼崎鼻
八郷
小瀬
五本松
東辺田
蕨島
蕨島
野口
松原鼻
荘
尾野島浜
笠山
笠山
松根
高
平坊



【凡例】



浸水深(m)	
🟪	20.0m以上　－
🟥	10.0m以上　－ 20.0m未満
🟥	5.0m以上　－ 10.0m未満
🟥	3.0m以上　－　5.0m未満
🟥	2.0m以上　－　3.0m未満
🟧	1.0m以上　－　2.0m未満
🟨	0.3m以上　－　1.0m未満
🟩	0.01m以上 －　0.3m未満

【津波の計算条件】

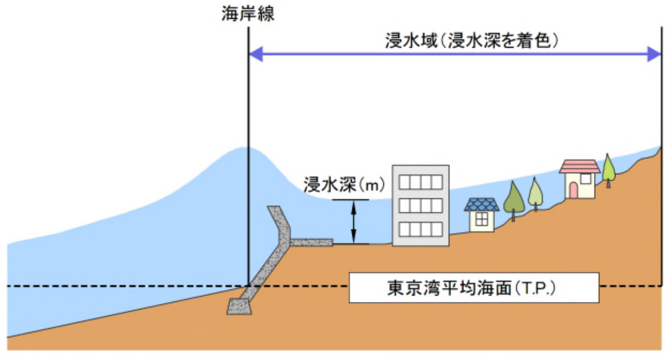
○初期潮位：朔望平均満潮位

○堤防条件：堤防あり（ただし、津波が堤防等を越流すると破堤）

【浸水想定の用語の解説】

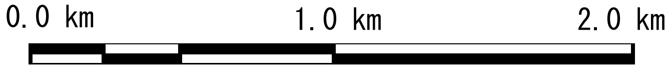
○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ



海岸線
浸水域（浸水深を着色）
浸水深(m)
東京湾平均海面(T.P.)

縮尺：1/25,000



0.0 km
1.0 km
2.0 km

【留意事項】

○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）をあらわしたものです。

○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。

○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

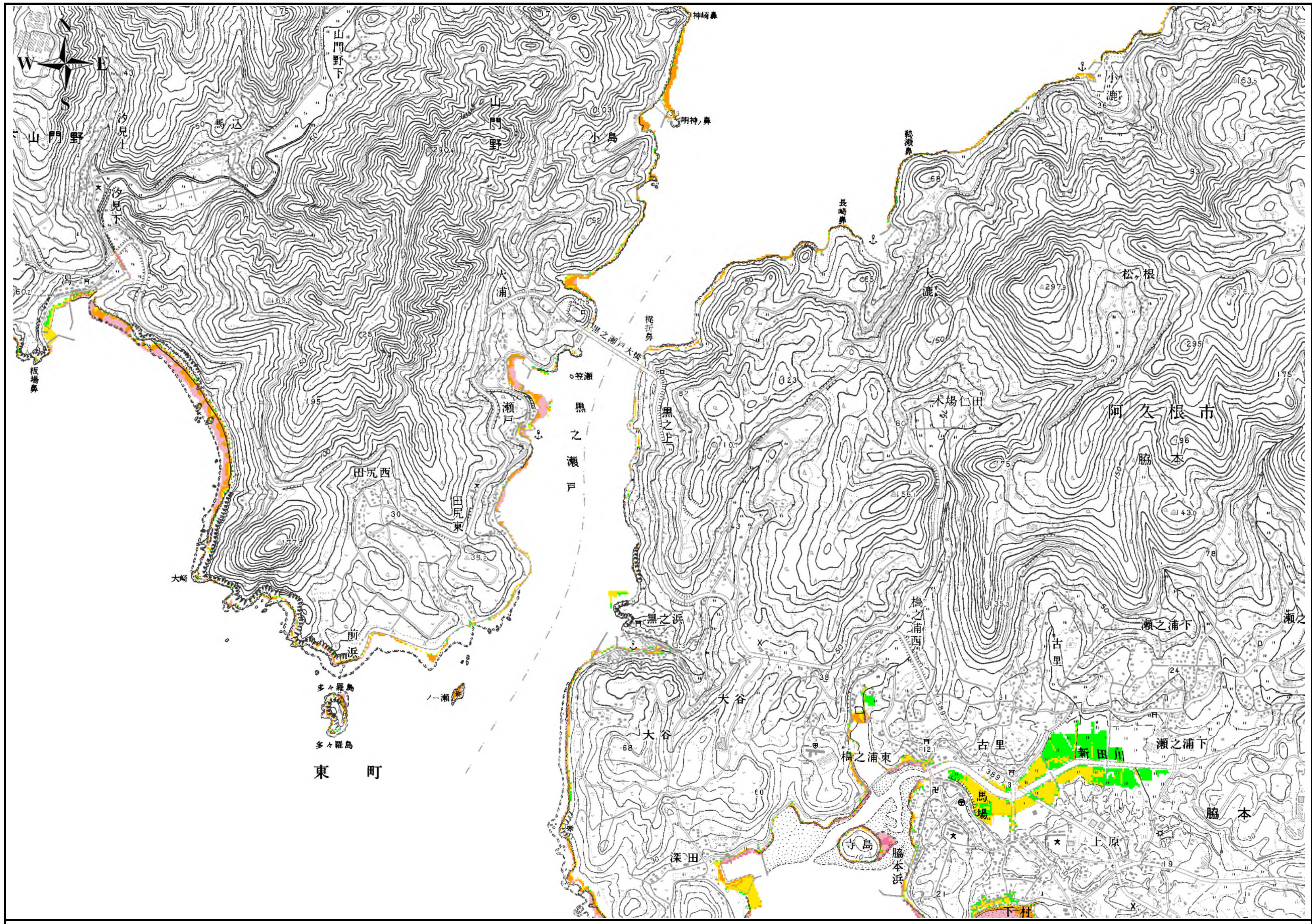
○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

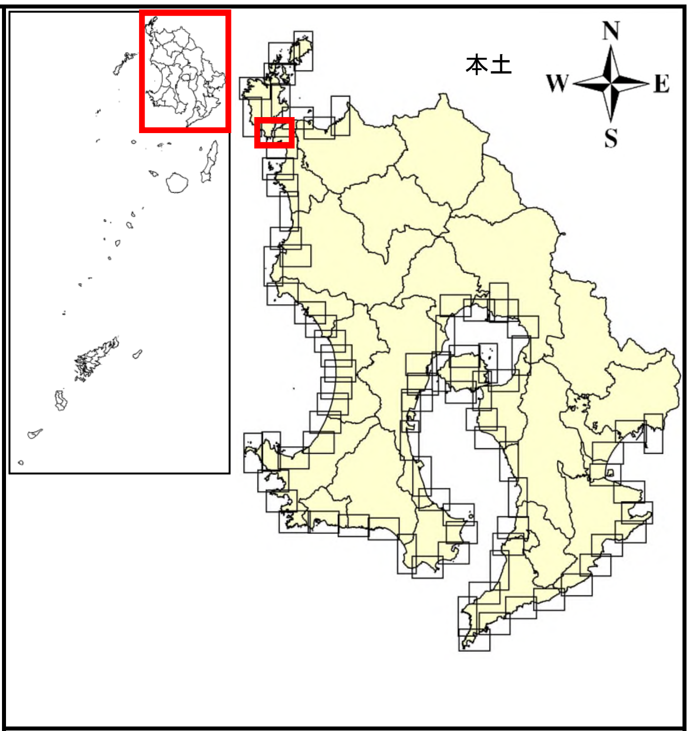
○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

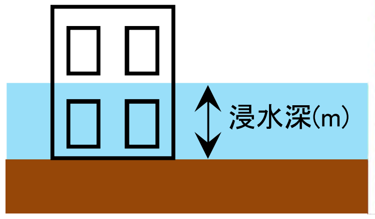
○この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平25情複、　第74号）
○この地図を複製・使用する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ(CASE5)の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：１０ ＞


N
W
E
S
山門野
汐見
馬込
山門野下
山門野
小島
神崎鼻
明神ノ鼻
汐見下
鶴瀬鼻
長崎鼻
小瀬
大瀬
松根
掘折鼻
黒之瀬戸大橋
笠瀬
瀬戸
黒之瀬戸
黒之上
木場仁田
阿久根市
脇本
板場鼻
田尻西
田尻東
大崎
前浜
多々羅島
ノ瀬
東町
黒之浜
橋之浦西
古里
瀬之浦下
大谷
橋之浦東
新田川
馬場
寺島
脇本浜
上原
深田
下村
瀬之



【凡例】



浸水深(m)	
■	20.0m以上 –
■	10.0m以上 – 20.0m未満
■	5.0m以上 – 10.0m未満
■	3.0m以上 – 5.0m未満
■	2.0m以上 – 3.0m未満
■	1.0m以上 – 2.0m未満
■	0.3m以上 – 1.0m未満
■	0.01m以上 – 0.3m未満

【津波の計算条件】

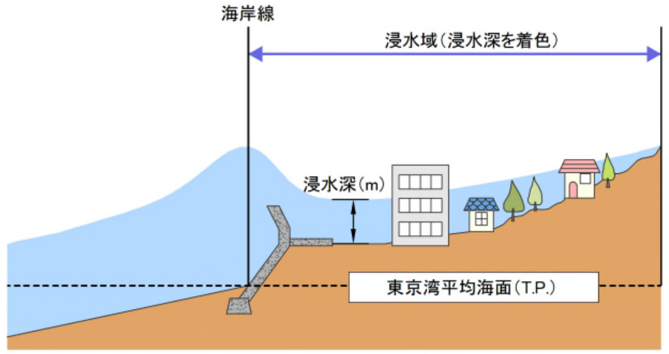
○初期潮位：朔望平均満潮位

○堤防条件：堤防あり（ただし、津波が堤防等を越流すると破堤）

【浸水想定の用語の解説】

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ


海岸線
浸水域（浸水深を着色）
浸水深(m)
東京湾平均海面(T.P.)

縮尺：1/25,000

0.0 km　1.0 km　2.0 km

【留意事項】

○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）をあらわしたものです。

○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。

○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

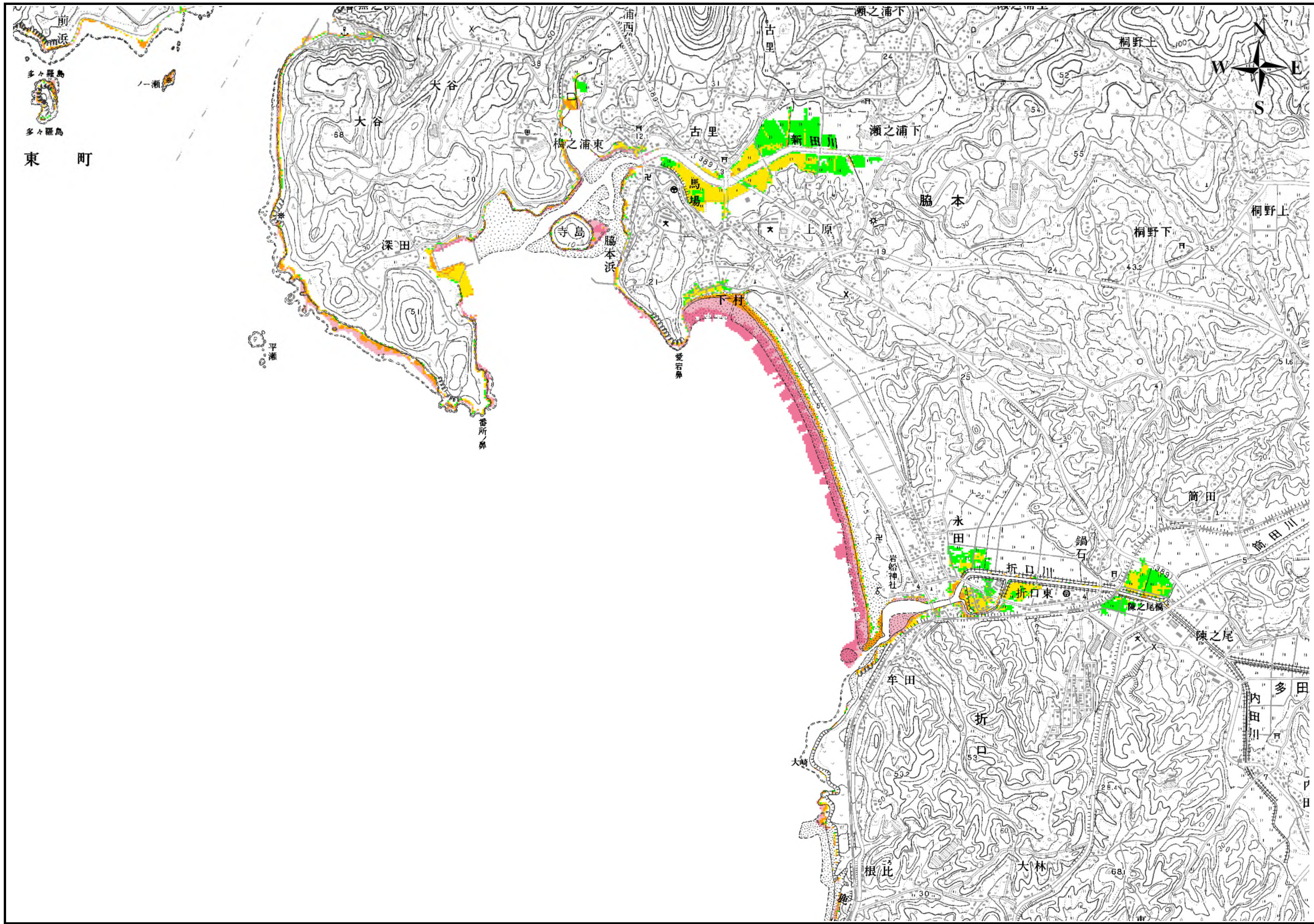
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

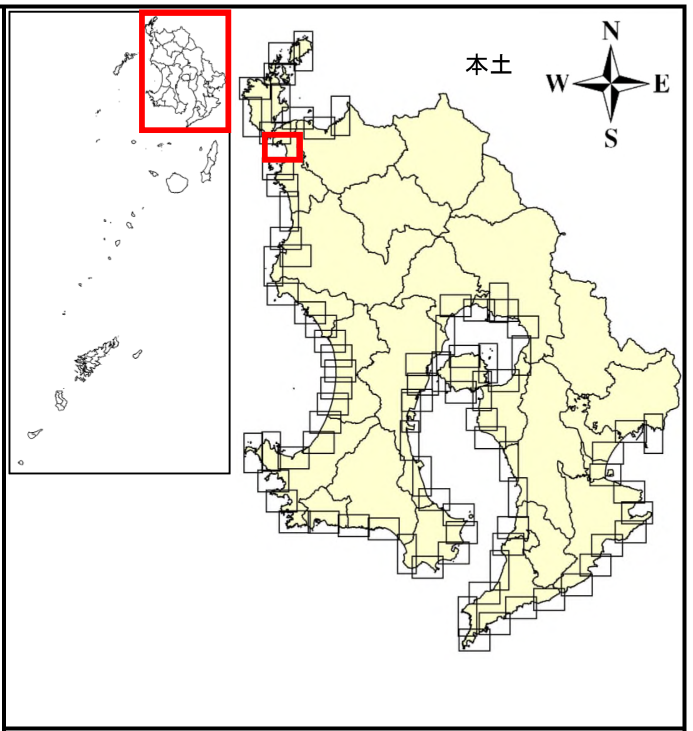
○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

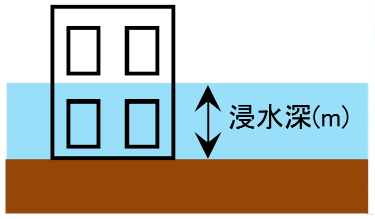
○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ(CASE5)の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：１１ ＞


前浜
多々羅島
ノ一瀬
東町
大谷
浦西
古里
橋之浦東
新田川
瀬之浦下
馬場
上原
脇本
桐野上
桐野下
深田
寺島
脇本浜
下村
愛宕鼻
番所ノ鼻
平瀬
水田
折口川
折口東
鍋石
陣之尾橋
陣之尾
岩船神社
筒田
筒田川
牟田
折口
多田
内田川
大崎
根比
大林
N
S
W
E



【凡例】



浸水深(m)

🟪	20.0m以上　－
🟥	10.0m以上　－ 20.0m未満
🟥	5.0m以上　－ 10.0m未満
🟥	3.0m以上　－　5.0m未満
🟥	2.0m以上　－　3.0m未満
🟧	1.0m以上　－　2.0m未満
🟨	0.3m以上　－　1.0m未満
🟩	0.01m以上 －　0.3m未満

【津波の計算条件】

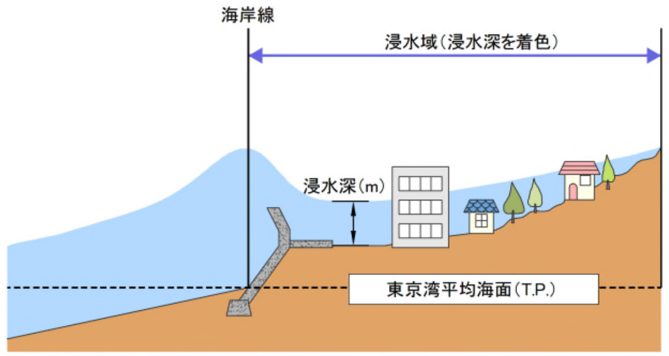
○初期潮位：朔望平均満潮位

○堤防条件：堤防あり（ただし、津波が堤防等を越流すると破堤）

【浸水想定の用語の解説】

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ


海岸線
浸水域（浸水深を着色）
浸水深(m)
東京湾平均海面(T.P.)

縮尺：1/25,000

0.0 km　　1.0 km　　2.0 km

【留意事項】

○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）をあらわしたものです。

○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。

○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

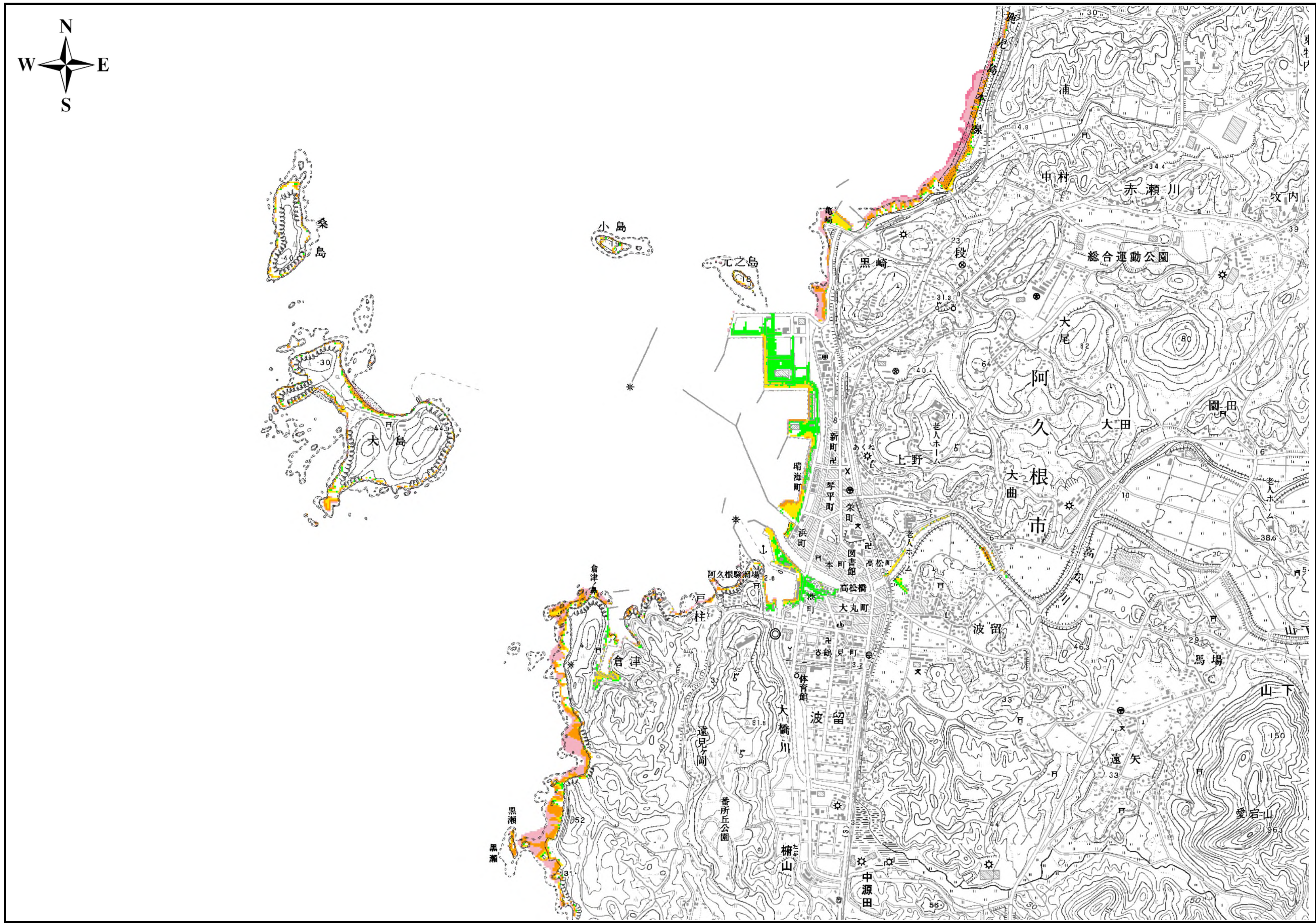
○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

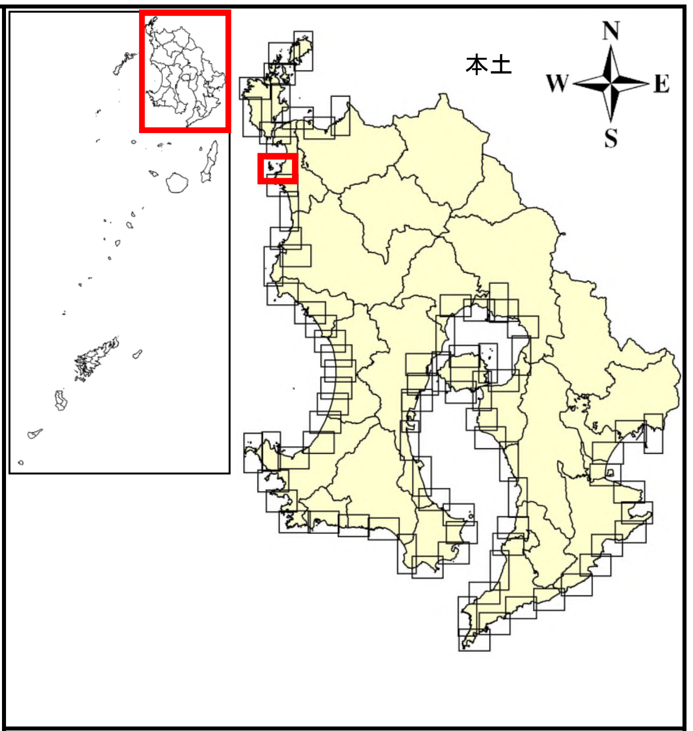
○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

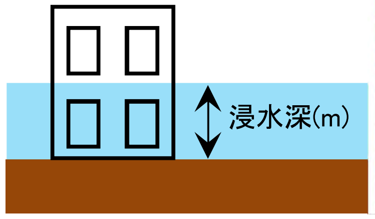
○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

鹿児島県浸水想定図【⑦ 南海トラフ（CASE5）の巨大地震に伴う津波】　＜ 浸水想定図番号：１２ ＞


N
W
E
S
桑島
小島
元之島
大島
亀崎
黒崎
段
浦
中村
赤瀬川
牧内
総合運動公園
大尾
阿久根市
園田
大田
上野
大曲
新町
晴海町
琴平町
栄町
浜町
本町
図書館
高松町
高松橋
大丸町
老人ホーム
高松
波留
馬場
山下
遠矢
愛宕山
倉津鼻
倉津
戸柱
体育館
遠見ケ岡
大橋川
番所丘公園
楠山
中源田
黒瀬



【凡例】



浸水深(m)

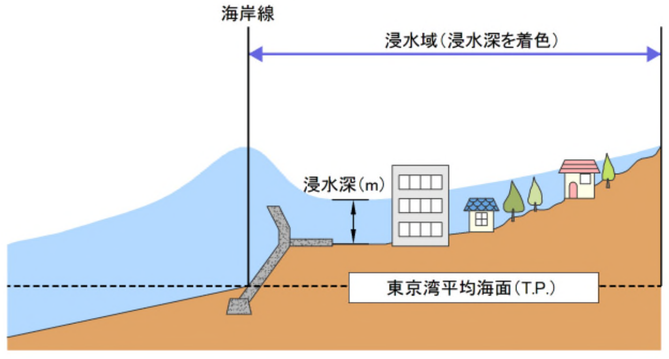
🟪	20.0m以上 －
🟥	10.0m以上 － 20.0m未満
🟥	5.0m以上 － 10.0m未満
🟥	3.0m以上 － 5.0m未満
🟥	2.0m以上 － 3.0m未満
🟧	1.0m以上 － 2.0m未満
🟨	0.3m以上 － 1.0m未満
🟩	0.01m以上 － 0.3m未満

【津波の計算条件】

○初期潮位：朔望平均満潮位
○堤防条件：堤防あり（ただし、津波が堤防等を越流すると破堤）

【浸水想定の用語の解説】

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高くなったときの水面から地面までの深さ


海岸線
浸水域（浸水深を着色）
浸水深(m)
東京湾平均海面（T.P.）

縮尺：1/25,000

0.0 km　　1.0 km　　2.0 km

【留意事項】

- ○「浸水想定図」は、県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）をあらわしたものです。
- ○「浸水想定図」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
- ○県地域防災計画を策定する上で想定した最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- ○浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- ○津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が大きくなることがあるため、浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- ○「浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。
- ○「浸水想定図」は、国土地理院発行の最新の数値地図を複製し作成していますが、一部の埋立地等、最新の数値地図に反映されていない埋立地等もあります。

○この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平 25 情複、　第 74 号）
○この地図を複製・使用する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。